

2026年8月10日



たてくろジオパーク だより 第93号

発行：立山黒部ジオパーク協会 事務局

〒930-0856 富山市牛島新町5-5 タワー111ビル1階

MAIL: info@tatekuro.jp HP: <https://tatekuro.jp/>

TEL: 076-431-2089 FAX: 076-482-3204

f <https://facebook.com/tatekuro>

企画展

五感で読む石ころ展

2026年7月18日(土)
～ 9月27日(日)

入場無料

主催：黒部市吉田科学館
協力：富山県視覚障害者福祉センター

「石ころ」について、重さや匂い、たたいた時の音など、五感を使って感じる企画展です。五感を使って石ころが持つ地球の情報を讀むと、地球で起きた様々な出来事が見えてきます。日本各地や富山県内で採集された様々な石ころを通して地球を感じてみましょう。目の不自由な方にも楽しんでいただけます。



鉱物の分子模型

石の音

水に浮く石

匂いのする石

岩石の「さわれる」顕微鏡写真



黒部市吉田科学館 企画展「五感で読む石ころ展」連携事業
& 立山黒部ジオパーク リレー講演会

蛇紋岩と地球と生命

～北アルプスからマリアナ海溝まで～

2026年8月15日(土)
15:00～16:30

場所：黒部市吉田科学館 研修室

定員：40名(事前予約不要、当日先着順)

料金：無料

概要：美しくも不思議な緑の岩石、蛇紋岩。北アルプスから深海まで各地で転々と見られる蛇紋岩を題材に、地球深部の活動解読と人類社会での利用の可能性について紹介します。



講師：沢田 輝 氏
富山大学都市デザイン学系 助教

主催：黒部市吉田科学館
共催：(一社)立山黒部ジオパーク協会

石ころが持つ様々な情報を五感で読んでみる企画展です。

石ころは地球で起きた様々なことを記録しているため、地球を知る手がかりとなります。

石ころと地球の面白さを感じてみましょう。

展示物：

- ・さわれる鉱物・岩石・膜石・化石
恐竜の歯のレプリカ
- ・音や匂いで感じる岩石
- ・富山県に産する岩石や化石、
身近な道具に使われている岩石
- ・岩石の顕微鏡写真の触察モデル、
鉱物の分子模型
- ・火山地形や河川の地形の模型、
地球断面模型
- ・黒部の名水と石ころの関係の
解説パネルなど

※解説員の常駐時間や、
事前予約制の職員に
よる解説については、
こちらを ⇒
ご覧ください



黒部市吉田科学館

KUROBE YOSHIDA SCIENCE MUSEUM

〒938-0005 富山県黒部市吉田 574-1

TEL 0765-57-0610 FAX 0765-57-0630

ホームページ <https://kysm.or.jp/>

開館時間 9:00～17:00

休館日

月曜日(祝日の場合は開館)
祝日の翌日、年末年始



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



9月のジオパーク散歩



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



立山黒部ジオパーク各地域の地形・地質や自然、文化をジオガイドの解説を聞きながら、ゆっくりと歩いて楽しみませんか？

詳細は 協会ホームページ、SNS、各自治体の広報誌でお知らせいたします。
参加費 500 円で、どなたでもご参加いただけます。

お申し込みはメール、FAX または電話で、

①参加者氏名（同伴者含む）②住所 ③電話番号
をお知らせください。

申込先：立山黒部ジオパーク協会事務局

E-mail info@tatekuro.jp TEL 076-431-2089 FAX 076-482-3204

*参加費 500 円

※最小催行人数は 4 人です。申込締切日までに最小催行人数に達しない場合は中止します。

募集中！



最近のジオパーク散歩の様子



ジオパーク散歩 in 大岩山日石寺

〈日本列島誕生の秘密を探る。〉

【日 時】9月13日（日）9:30～11:30（受付9:15～）

【集合場所】大岩山日石寺駐車場（夫婦岩前）

【見学場所】大岩山日石寺（不動明王磨崖仏、夫婦岩）、千巖溪

【持 ち 物】雨具、軍手、滑りにくい靴、飲み物ほか

【対 象】どなたでも（小学生以下は保護者同伴）

【申込期限】9月9日（水）定員10名先着順

ジオパーク散歩 in 沢スギ

〈ここに黒部川が流れていた？—沢スギでたどる水の物語〉

【日 時】9月16日（水）10:00～12:00（受付9:45～）

【集合場所】沢スギ自然館

【見学場所】沢スギ林内散策（雨天時は沢スギ自然館内）

【持 ち 物】動きやすい服装、飲み物、帽子、雨具など

【対 象】どなたでも（小学生以下は保護者同伴）

【申込期限】9月11日（金）定員10名先着順

ジオパーク散歩 in 片貝

〈片貝川上流の隠れスポット坂様谷の岩屋へ行こう。〉

【日 時】9月22日（火・祝）9:00～12:00（受付8:45～）

【集合場所】片貝川上流の隠れスポット坂様谷の岩屋へ行こう。

【見学場所】片貝川上流の隠れスポット坂様谷の岩屋へ行こう。

【持 ち 物】雨具、軍手、滑りにくい靴、飲み物ほか

【対 象】山道を歩ける方

【申込期限】9月16日（水）定員10名先着順

定員に達しました

ジオパーク散歩 in いたち川

〈立山の雪解け水が街の中に湧き出るわけとは？！〉

【日 時】9月24日（木）10:00～12:00（受付9:45～）

【集合場所】富岩運河環水公園（泉と滝の広場前）

【見学場所】富岩運河環水公園、いたち川沿い、

石倉町の延命地蔵尊

【持 ち 物】雨具、飲み物、水筒やペットボトルなど

【対 象】どなたでも（小学生以下は保護者同伴）

【申込期限】9月16日（水）定員10名先着順

身近な気候変動の緩和・適応の取り組みを実践しましょう！

気候変動に対して、その緩和や適応の取り組みは、地球温暖化を抑制して持続可能な社会構築のために大切な活動です。この取り組みは、「誰かが」ではなく、「みんなが」日々の生活において、少しずつ実践する必要があります。立山黒部ジオパーク協会は、この活動の推進者でありたいと考えております。下記をご参照ください。



パンフレット

（富山県気候変動適応センター）

地球温暖化と富山の未来

身の回りの気候変動を考えよう！

<https://www.pref.toyama.jp/documents/25871/cc-a-pamphlet-2021toyama.pdf>



7/18 ジオパーク散歩 in 眼目山立山寺

上市町でのジオパーク散歩、この日は12名の方にご参加いただき、まずは榎並木の参道を歩きました。木陰が広がり、涼しく心地よい風が吹き抜けるととても気持ちの良い道のりでした。

続いて立山寺では、住職さんから眼目山立山寺の由来やお寺の歴史について貴重なお話を伺うことができ、学びの多い時間となりました。その後、三十三観音菩薩を見学しながら楡形山へ向かいました。去年は途中までしか登れなかった楡形山も、今年は見事、頂上まで到達でき、参加者の皆さんと一緒に達成感を味わうことができました。

3連休のスタートにふさわしい、自然と歴史を満喫できる散歩となりました。



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



アンケートにご協力ください！

「立山黒部ジオパークの拠点施設」をテーマに卒業論文に取り組んでいる金沢大学の学生さんと、協会が共同で、次の3施設でアンケートを実施しています。(8月末まで)

富山県立山カルデラ砂防博物館

黒部市地域観光ギャラリー

立山黒部ジオパーク交流施設 わくわく広場「うなジオ」

これらの施設にお立ち寄りの際は、ぜひアンケートにご協力ください。ご回答いただいた方には、オリジナル缶バッジをプレゼントしています。

設置から数日が経ち、ある施設では早くも多くの方にご回答いただいております、プレゼント用の缶バッジを慌てて補充しに行くほどの反響をいただいております。

皆さまの声が、学生さんの研究や、当協会のジオパークの活動の励みになります。ご協力、よろしく願いいたします！



富山市科学博物館 特別展 『自然現象のメカニズム』

日常的に見られる「空」の雲や「海」の波、突発的に発生する台風や地震などの自然現象はどのようなメカニズムで起こっているのでしょうか。体験型展示をとおして、様々な自然現象の仕組みを学んでみましょう。(企画協力：科学技術館)

令和8年度 特別展

自然現象のメカニズム

2026
7.18(土) ▶ 8.30(日)

開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時半まで)
観覧料 大人530円+特別展観覧料100円
(プラネタリウム1回観覧含む)
・高校生以下無料
・小学生以下団体は引率者同伴

富山市科学博物館
TOYAMA SCIENCE MUSEUM
企画協力：科学技術館

「風が吹く」「雨が降る」といった自然現象は、私たちが暮らす中で当たり前のように起こることです。

しかし、当たり前すぎるからこそ、なぜこのような現象が起こるのか、改めて考えてみると分からないことがたくさんあります。

自然現象の中には、特定の地域でなければ発生しないものもありますが、この特別展では、主に私たちが普段の生活で経験する自然現象について、「空・海・大地」に分けてそのメカニズムを紹介します。

また、自然現象に関するQ&Aコーナーもあるので、疑問に思ったことをぜひ調べてみましょう。

展示解説会を開催！

開催日・時間

8月15日(土)	各々
16日(日)	10:30～
22日(土)	14:00～
23日(日)	[各回15分程度]
29日(土)	
30日(日)	

詳しくはこちら
をご覧ください。





立山連峰には5つの現存氷河があり、その内の1つが内蔵助氷河です。5つの氷河で唯一、登山道で行くことができる氷河です。内蔵助氷河は、2011～2016年の5年間に及ぶ観測で流動が確認され、2018年に氷河として学術的に認められました。富士ノ折立（2999m）と真砂岳（2861m）を結ぶ稜線の東側にあり、最終氷期の氷河によって削り込まれて出来たお椀のような窪地である圏谷内にあります。内蔵助氷河は厚さ25mの氷の塊である氷体を持っています。雪融けが大きく進んだ年の秋には、ムーランと呼ばれる縦穴がこの氷体上にいくつも出現します。名古屋大学の研究グループがこのムーランに潜って氷河の底の氷を採取し、氷の中の植物片の放射性炭素年代を測定したところ今から約1000～1700年前という年代値が得られました。このことから内蔵助氷河の氷は古墳時代から現在まで融け残っている日本最古の氷である可能性があります。また、内蔵助氷河の南側にはプロテラスランパートと呼ばれる堤防状の地形が氷河に食い込むように存在しています。このプロテラスランパートには山岳永久凍土が現存していて、温暖化が進んできている現在、その消長が注目されています。

内蔵助氷河は、立山黒部ジオパークのジオサイトに登録されています。



サイトの保護・保全のお願い！

私たちの大切な宝物であるジオ・自然・文化サイトを壊したり汚したりされませんよう保護・保全にご協力をお願いします。また、サイトが破損や汚染しているのを見かけたら、当協会までお知らせください。

立山黒部ジオパーク協会

TEL 076-431-2089

E-mail info@tatekuro.jp

令和8年度 富山市民大学

7月15日、令和8年度富山市民大学「立山黒部ジオパークを知る」の第5回が開催され、特別天然記念物魚津埋没林博物館の石須館長が「植物で考える立山黒部ジオパークの時間と空間」というテーマでお話しされました。

一般的なスギの話から入られ、魚津市片貝川上流の南又谷の洞杉について、七不思議をもとに解説されました。一見一般的なスギとは思えない洞杉ですが、この地域の環境（地形・地質・気候・人の営み）が複合されて形づくられたスギ一つの生態の形だということを知りやすくお話していただきました。

このあとは、9月から11月にかけて、残り5回の講義があります。



〈編集後記〉

令和8年熊本地震で被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。地球のダイナミックな動きは時に大きな災害を起こしますが、その記憶を未来へ語り継ぎ、防災に活かしていくことも、ジオパーク活動の大切な役目です。立山黒部が見せる大自然の恵みだけでなく、その「恐ろしさ」も正しく伝えていかなければと改めて感じています。これからも皆様と一緒に、地域の自然を見つめ直す活動を地道に、楽しく続けていければと思っています。



立山黒部ジオパークへのご意見などはこちらへ！



立山黒部ジオパーク協会では、富山県東部地域の魅力を世界へ発信するために、民間活力を活かしたジオパーク活動を行っています。私たちの活動を支援して下さる方、手助けをして下さる方をお待ちしています。ジオパークの活動に興味のある方は、立山黒部ジオパーク協会（076-431-2089）までお問い合わせください。



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK

